

第4章 史跡仙台城跡の本質的価値

第1節 史跡仙台城跡の本質的価値

史跡の本質的価値とは、「史跡に指定された土地に存在する「遺跡」が土地と一体となって有する我が国の歴史上又は学術上の価値」とされています。（「史跡等整備のてびき-保存と活用のために- I 総説編・資料編」文化庁記念物課 2005）

史跡仙台城跡の本質的価値については、指定理由や市文化財保護審議会答申などから以下の通りまとめられますが、今後さまざまな調査を継続していくことにより新たな価値が発見されることも考えられます。

- (1) 仙台城跡は、明治維新後の火災や戦災による焼失などのため、往時の建築遺構がほぼ失われている現状ですが、城郭の基本的形状は全体として良好に保たれており、石垣、土塁、堀などの遺構が随所に残存し、城郭としての姿をよく残しています。また、石垣の解体修復に伴う発掘調査では、3期にわたる石垣の変遷などその築城の様子が確認されたほか、金箔瓦、ヨーロッパ産ガラス器などの特色ある遺物が出土しています。これらのことから、仙台城跡は我が国近世を代表する城跡であるとともに、陸奥国の大大名であった伊達家の特色をうかがうことができる点で重要です。
- (2) 仙台城跡は地形的条件を巧みに利用し防御性を高めており、御裏林と称され城内水利の供給源ともなっていた青葉山の自然林、天然の要害としての竜の口溪谷など、遺構と連続性をもって価値を形成する豊かな自然環境が、城郭としての特性をより深めています。城を構成する自然環境の一部は天然記念物青葉山として指定されており、都市近郊においてきわめて貴重で学術上の価値が高いものです。
- (3) 仙台城跡は慶長6年（1601）に築城が開始された山城的性格と、寛永15年（1638）に造営が開始された二の丸の平城の性格が併存しており、徳川政権の確立へ向かう政治情勢の過程を反映した城郭構造がうかがえる点で重要です。

第2節 地区区分

史跡を構成する諸要素を抽出するにあたり、範囲が広域であるため、主要な曲輪等を考慮して以下のように地区を区分します。

I 本丸を中心とした範囲

本丸水源であった御清水、貯水槽石垣等を含みます。

II 大手門、巽門から本丸までの登城路とその周辺

登城路、中曲輪、沢曲輪、中島曲輪

III 三の丸（東丸）

水堀と土塁に囲まれた曲輪。

IV 二の丸

いわゆる二の丸の殿舎と、その周辺にあった勘定所、七十間兵具蔵、破損方会所等、扇坂などを含めた範囲。

V 御裏林と本丸縁辺の崖地

V-1 御裏林、V-2 本丸縁辺崖地

VI 城の東縁に配された武家屋敷、馬場、厩等

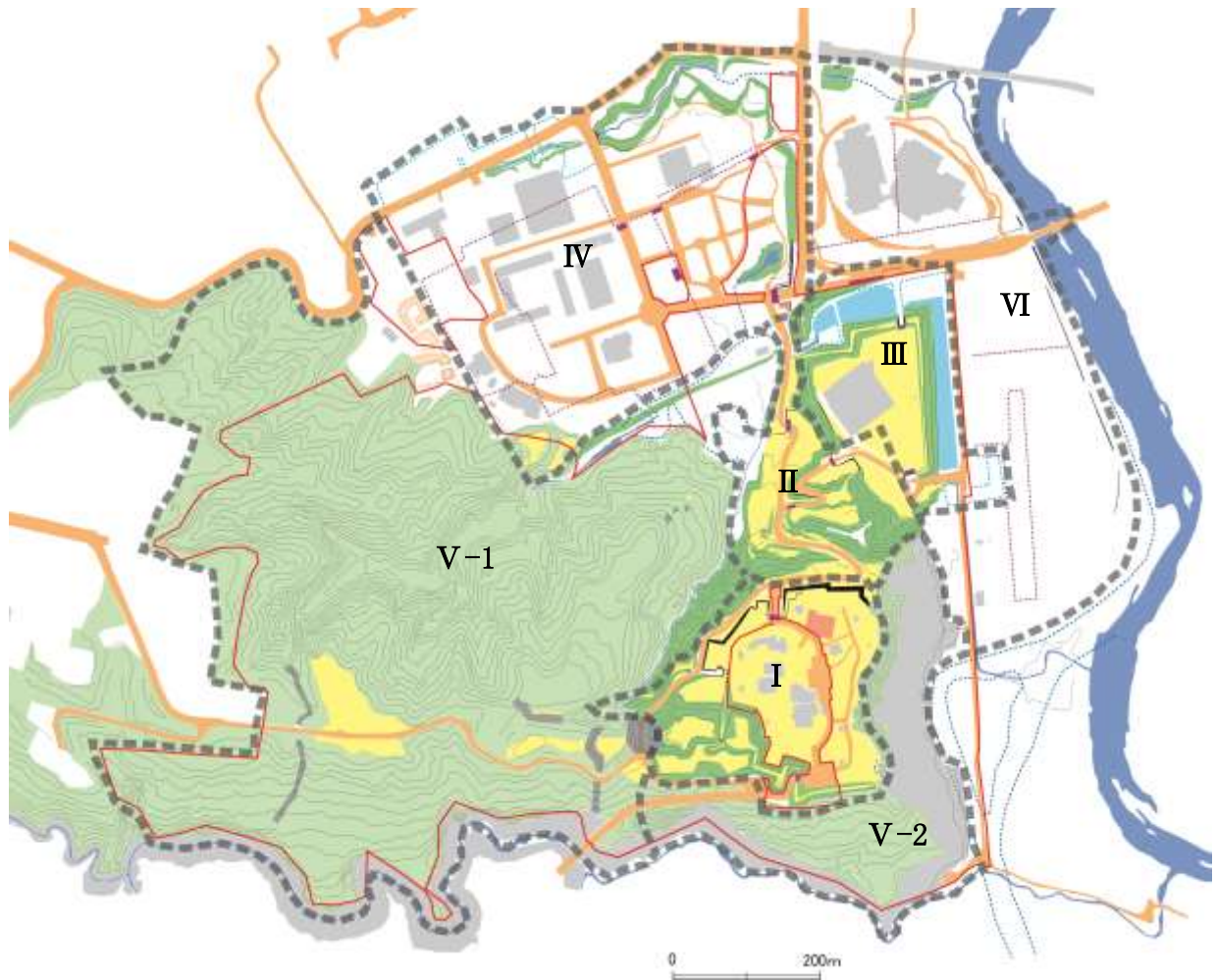


図 4-1 地区区分図

第3節 地区ごとの構成要素

1 史跡等を構成する諸要素

史跡等を構成する諸要素には、以下のものがあります。

- ①本質的価値を構成する諸要素
- ②本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素
 - ア．史跡の保存・活用に有効な諸要素
 - イ．その他の諸要素
- ③指定地の周辺地域を構成する諸要素

「①本質的価値を構成する諸要素」は、史跡を構成する遺構や遺物などであり、将来にわたり改変することなく確実な保存を図るべきものです。城郭を構成する石垣、堀、平場などの遺構や、地下に埋蔵されている遺構や遺物などがあたります。

「②本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素」は、史跡指定地内において、仙名城の廃城後に自然的あるいは人為的に付加された諸要素のことです。

その中で「ア．史跡の保存・活用に有効な諸要素」は、史跡の本質的価値を保存していくために欠くことのできないものや、史跡指定地の良好な環境や景観を構成している要素であり、今後も適切な維持管理を行って保全に努めるべき対象をいいます。史跡の公開活用を目的として設置された管理施設、説明板、案内板や消防関係設備、堀の水質浄化のための設備などが含まれます。また、公園利用者のための諸施設もこれにあたります。

「イ．その他の諸要素」は、史跡の本質的価値に直接は関わりのない施設、工作物、石垣等に影響を与えている樹木などであり、将来的には移設等も含めた取扱いを検討すべき要素です。

「③指定地の周辺地域を構成する諸要素」は、仙名城跡の範囲であるが史跡指定地以外に存在する諸要素や、仙名城跡の周辺にあり、仙名城跡に関連する遺跡などです。

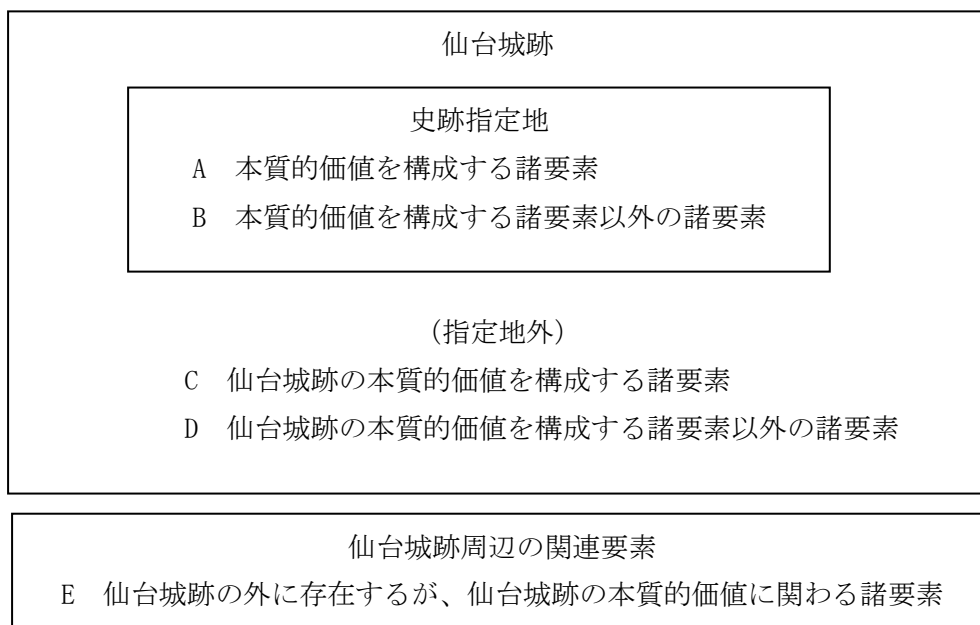


図 4-2 史跡等を構成する諸要素のイメージ図

2 史跡を構成する諸要素

(1) 史跡指定地

①本質的価値を構成する諸要素

- ・石垣、堀、土塁、平場、切岸などの、城跡を構成する地表顕在遺構
- ・建造物（仙台城跡においては土塀のみ）
- ・地下に埋蔵されている遺構及び遺物
- ・城郭周囲にあり防御施設ともいえる崖地や沢などの自然地形
- ・天然記念物に指定されている植生

②本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素

ア. 史跡の保存・活用に有効な諸要素

- ・遺構表示整備（大広間跡、巽門跡）
- ・ガイダンス施設、石垣モデル、遺構解説板などの、解説のための施設及び工作物
- ・案内板
- ・トイレ、あずまや等の便益施設
- ・再建建造物（大手門脇櫓）
- ・発掘調査現地事務所
- ・公園施設（柵、外灯、電線・水道などの地中埋設物）

イ. その他の諸要素

- ・顕彰碑・石灯籠等
- ・史跡指定地内に存在する市道と関連施設
- ・旧陸軍関係の施設
- ・亜炭採掘の施設
- ・樹木

(2) 仙台城の範囲であるが未指定地

①本質的価値を構成する諸要素

- ・石垣、平場などの、城跡を構成する地表顕在遺構
- ・地下に埋蔵されている遺構及び遺物
- ・城郭周囲にあり防御施設ともいえる崖地や沢などの自然地形

②本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素

ア. 史跡の保存・活用に有効な諸要素

- ・遺構解説板

イ. その他の諸要素

- ・神社社殿、大学施設、公共施設など
- ・顕彰碑等
- ・主に通勤路として利用されている市道と関連施設
- ・樹木

(3) 仙台城跡の周辺にあり、仙台城跡に関連する遺跡

- ・ 仙台城跡の遺跡範囲における二の丸北方武家屋敷地区、川内 A~C 遺跡、桜ヶ岡公園遺跡
- ・ 藩主の墓所である経ヶ峯、茂ヶ崎山
- ・ 大崎八幡宮、亀岡八幡宮など隣接する神社
- ・ 国見地区の石切丁場
- ・ 若林城跡

(4) 地区ごとの具体的な諸要素

I 本丸を中心とした範囲

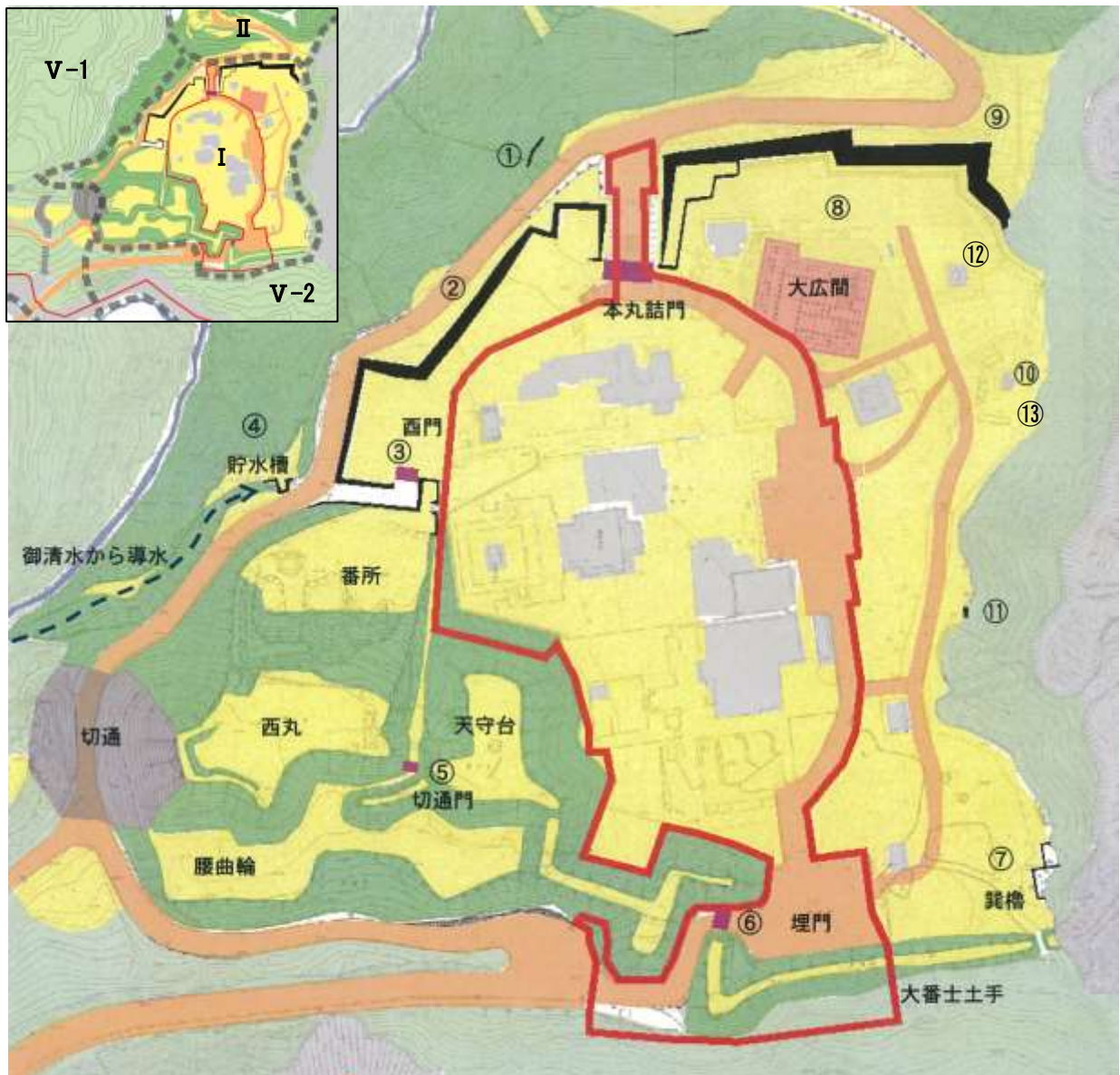


図 4-3 I 区 (本丸) の遺構
(○数字は次ページの写真に対応)



図 4-4 本丸北西下の石垣①
(平成 23 年に被災)



図 4-5 本丸北西石垣②
(平成 23 年に被災し復旧)



図 4-6 西門石垣③
(昭和 53 年・平成 23 年に被災し復旧)



図 4-7 貯水槽石垣④
(平成 23 年に被災)



図 4-8 切通門跡の現況⑤



図 4-9 埋門跡の現況⑥



図 4-10 異檣跡の現況⑦
(檣台の北西角部)



図 4-11 本丸北東部の現況⑧



図 4-12 本丸北壁石垣⑨



図 4-13 懸造跡推定地⑩



図 4-14 懸造跡推定地の石列⑩



図 4-15 御守殿跡石垣⑪
(平成 23 年に被災)



図 4-16 本丸北東部の石敷遺構⑫
(つくばいか?)



図 4-17 本丸北東部の井戸跡⑬

(○数字は前ページの図に対応)



図 4-18 I 区（本丸） ガイダンス施設、解説・誘導サイン等の位置図



図 4-19 大広間跡遺構表示と仙台城見聞館（ガイダンス施設）



図 4-20 大広間跡遺構整備解説サイン



図 4-21 仙台城見聞館とトイレ



図 4-22 史跡標柱



図 4-23 石垣モデル
石垣の構造を解説



図 4-24 遺構解説サイン



図 4-25 眺望解説サイン



図 4-26 誘導サイン（矢羽根型）

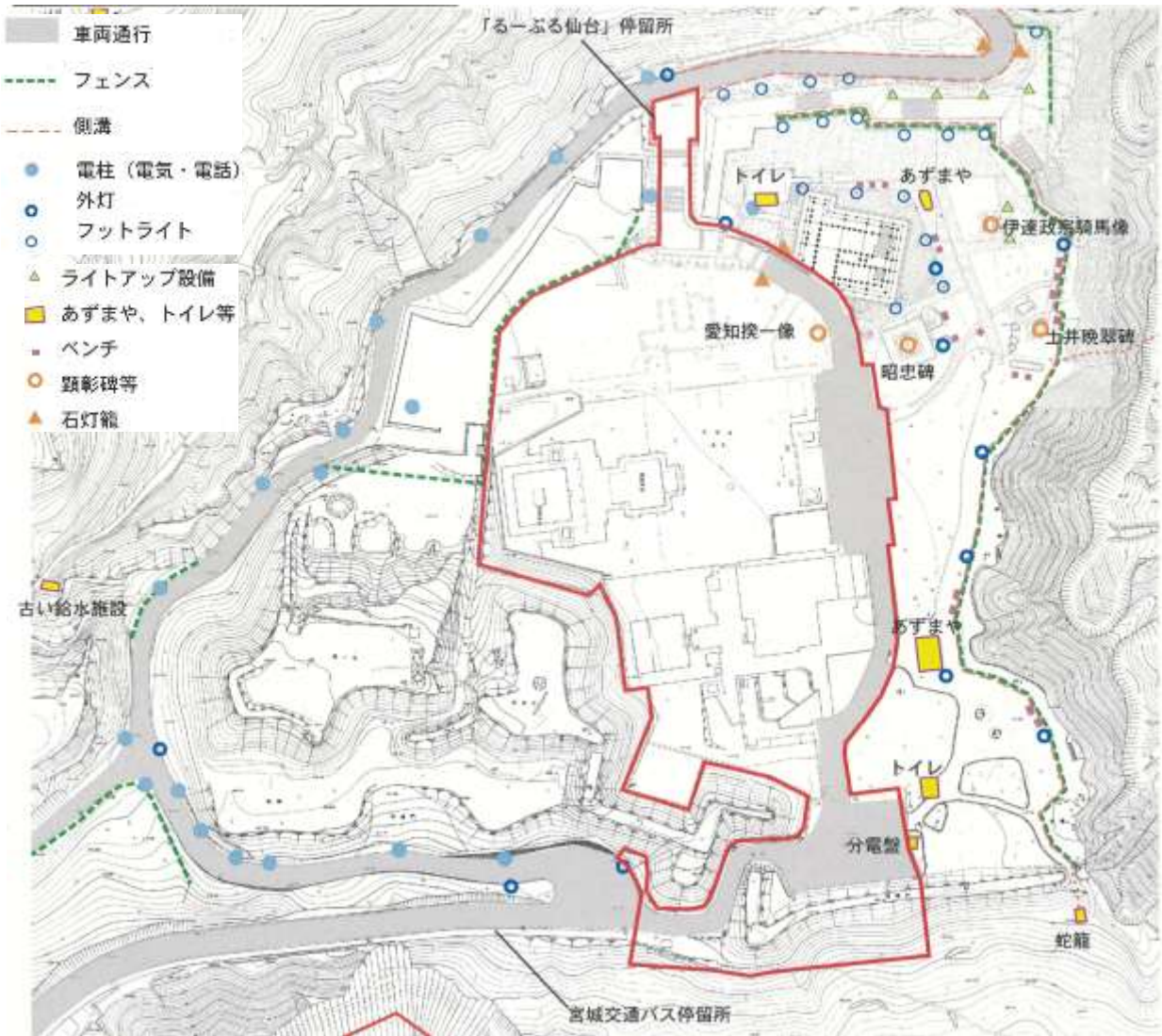


図 4-27 I 区（本丸） 公園施設・顕彰碑等の位置図



図 4-28 観光サイン（宮城県内）



図 4-29 本丸北壁石垣天端のフェンス（フェンス両脇に植栽）



図 4-30 フェンス・ベンチ・外灯・園路



図 4-31 あずまや・園路



図 4-32 トイレ



図 4-33 外灯・ベンチ・フットライト



図 4-34 フェンス・ゴミ入れ・注意サイン



図 4-35 昭忠碑
1902 (明治 35)



図 4-36 伊達政宗騎馬像
台座：1935 (昭和 10)
騎馬像：1964 (昭和 39)



図 4-37 石灯籠



図 4-38 土井晩翠碑
1952 (昭和 27)



図 4-39 御清水付近のコンクリート
造施設

Ⅱ（登城路）・Ⅲ（三の丸〔東丸〕）



図4-40 Ⅱ区（登城路）・Ⅲ区（三の丸〔東丸〕）の遺構（○数字は以下の写真に対応）



図4-41 石組側溝1①



図4-42 石組側溝2②



図4-43 石垣4006③



図4-44 石垣4007と登城路④



図4-45 石垣4008⑤



図4-46 清水門石垣と登城路⑥



図 4-47 石垣 4009⑦



図 4-48 巽門跡と石垣 3001⑧



図 4-49 石垣 3006⑨



図 4-50 子門跡⑩



図 4-51 石垣 3005⑪



図 4-52 長沼⑫



図 4-53 五色沼⑬



図 4-54 五色沼⑭



図 4-55 三の丸(東丸)北側の土塁⑮



図 4-56 三の丸(東丸)東側の土塁⑯

(○数字は前ページの図に対応)



図 4-57 中門跡から本丸跡をのぞむ

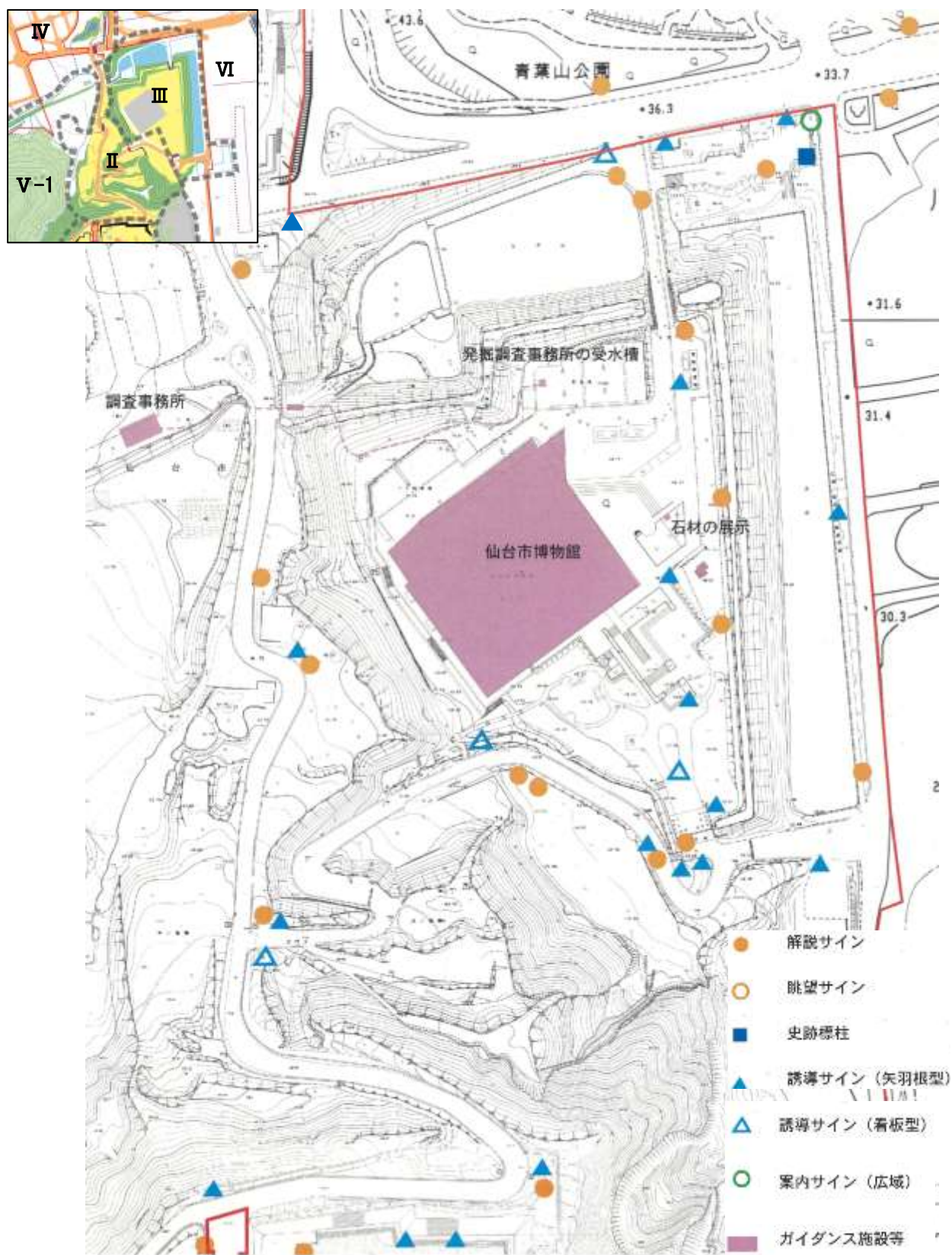


図 4-58 II 区 (登城路)・III 区 (三の丸 [東丸]) のサイン等位置図



図 4-59 仙台市博物館
1961 開館 1986 全面新築



図 4-60 二の丸跡調査事務所



図 4-61 博物館入口前に石垣石材を展示



図 4-62 博物館入口前の案内サイン



図 4-63 博物館入口前の案内サイン



図 4-64 沢門跡の遺構解説サイン



図 4-65 子門跡の遺構解説サイン



図 4-66 「無限の軌跡」(フィギアスケート発祥の地) 1995



図 4-67 残月亭(明治期の茶室) 2000 年移築 市指定文化財



図 4-68 家畜慰霊碑 1955



図 4-69 軍馬・軍用動物彰忠碑 1940



図 4-70 満州事変軍馬戦没之碑 1933



図 4-71 伊達政宗胸像 1935



図 4-72 林子平記念碑 1968



図 4-73 左:魯迅の碑 1960 右:魯迅像 2001

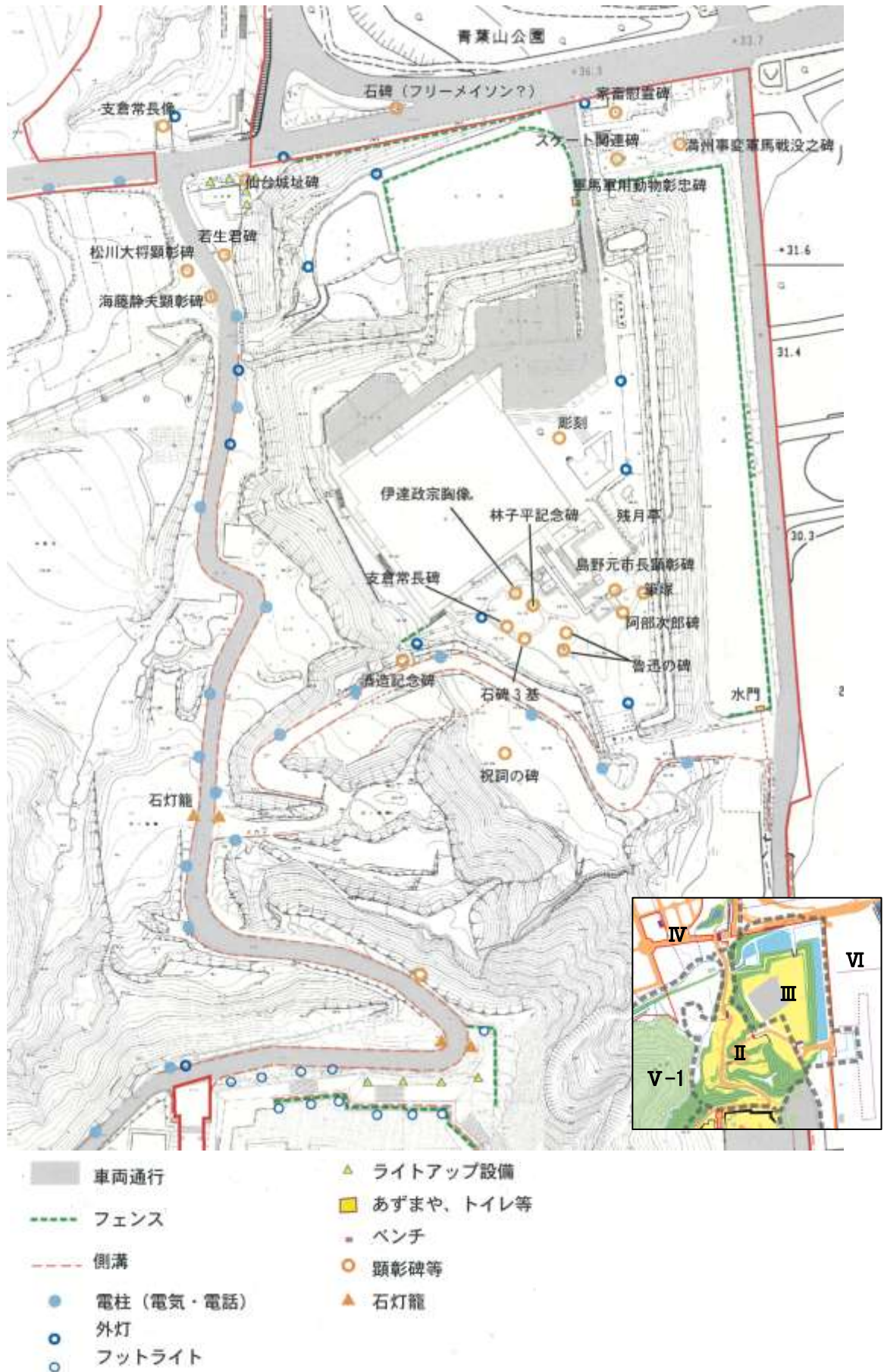


図4-74 II区 (登城路)・III区 (三の丸 [東丸]) の公園施設・顕彰碑等位置図



図 4-75 阿部次郎の碑 1985



図 4-76 支倉常長の碑 1961



図 4-77 石碑



図 4-78 東東洋の筆塚
1999 寄贈



図 4-79 酒造記念碑
1978



図 4-80 祝詞の碑
1935



図 4-81 彫刻 1995



図 4-82 島野市長顕彰碑 1987



図 4-83 仙台城址碑 1935
とライトアップ機材



図 4-84 海藤静夫翁記功碑
1930



図 4-85 松川大将之碑 1929



図 4-86 天逸若生君碑
1924



図 4-87 沢門跡付近の石灯
籠、道路標識、柵など



図 4-88 中門跡付近の交通
標識など



図 4-89 調査事務所給水の
ための貯水槽（博物館駐
車場内）



図 4-90 調査事務所給排水
のための仮設物

IV 二の丸



図 4-91 IV区（二の丸）の遺構位置図（○数字は以下の写真に対応）



図 4-92 千貫橋の石垣①



図 4-93 火薬庫の入口②



図 4-94 火薬庫のレンガ積み建物跡③



図 4-95 残月亭付近の杉並木④



図 4-96 川内古碑群⑤
左：弘安10年（1287）
右：正安4年（1302）



図 4-97 大手門跡付近⑥-1
北側の石垣と土塀



図 4-98 大手門跡付近
登城路と石垣⑥-2
[大手門脇櫓は昭和42年に市が寄贈を受ける]



図 4-99 筋違橋付近の石垣⑦



図 4-100 筋違橋付近の石垣⑦



図 4-101 扇坂跡⑧
平成 27 年に階段を建設



図 4-102 二の丸跡東側の土手⑨

(○数字は前ページの図に対応)

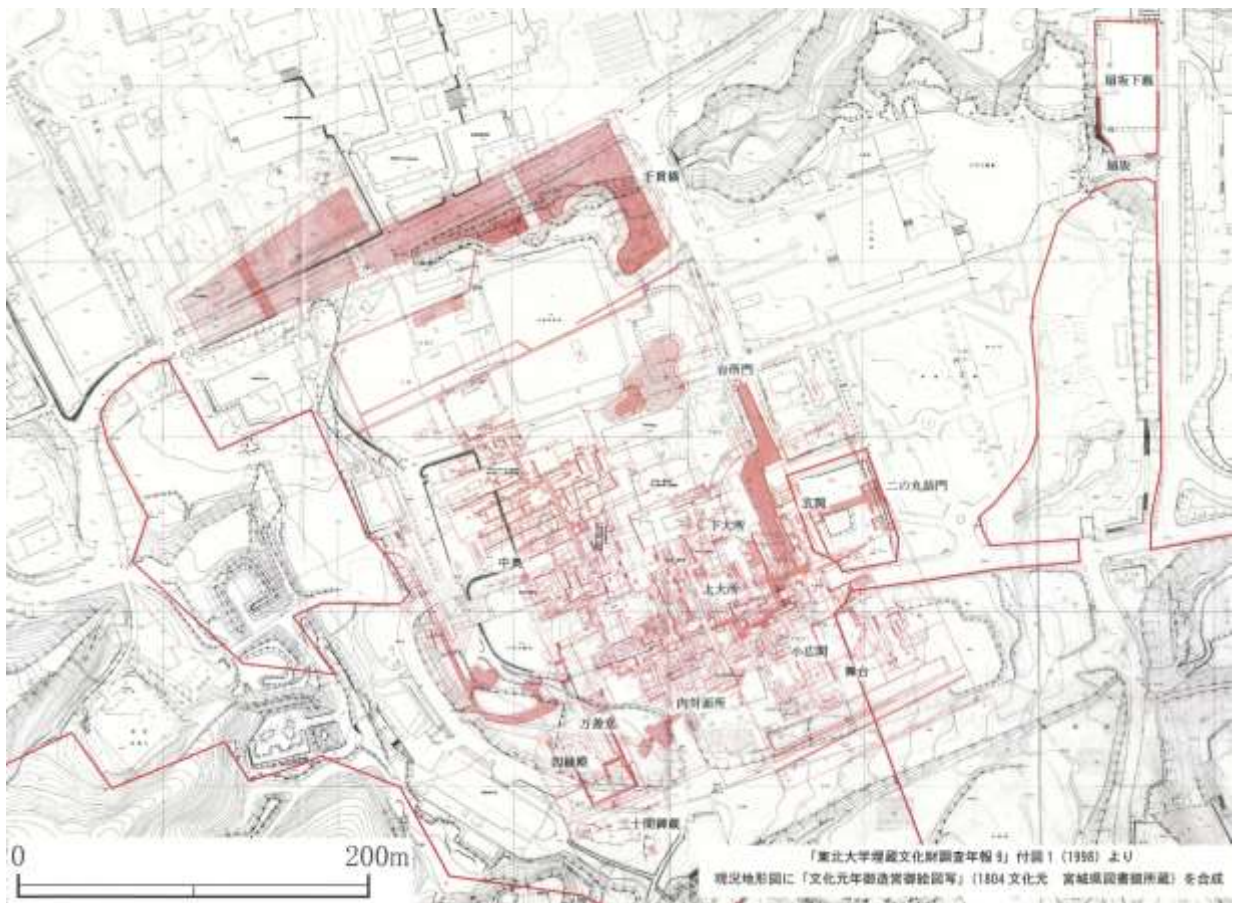


図 4-103 二の丸絵図との合成図
(「東北大学埋蔵文化財調査年報 9」1998 より引用)



図 4-104 IV区（二の丸）のサイン等位置図



図 4-105 二の丸跡解説サイン



図 4-106 解説サイン
左：日本遺産解説サイン
右：遺構解説サイン（扇坂跡）



図 4-107 解説・誘導サイン
手前：災害復旧サイン
奥：誘導サイン



図 4-108 大手門跡付近のサイン等



図 4-109
大手門解説サイン



図 4-110 支倉常長像
1972（昭和42）

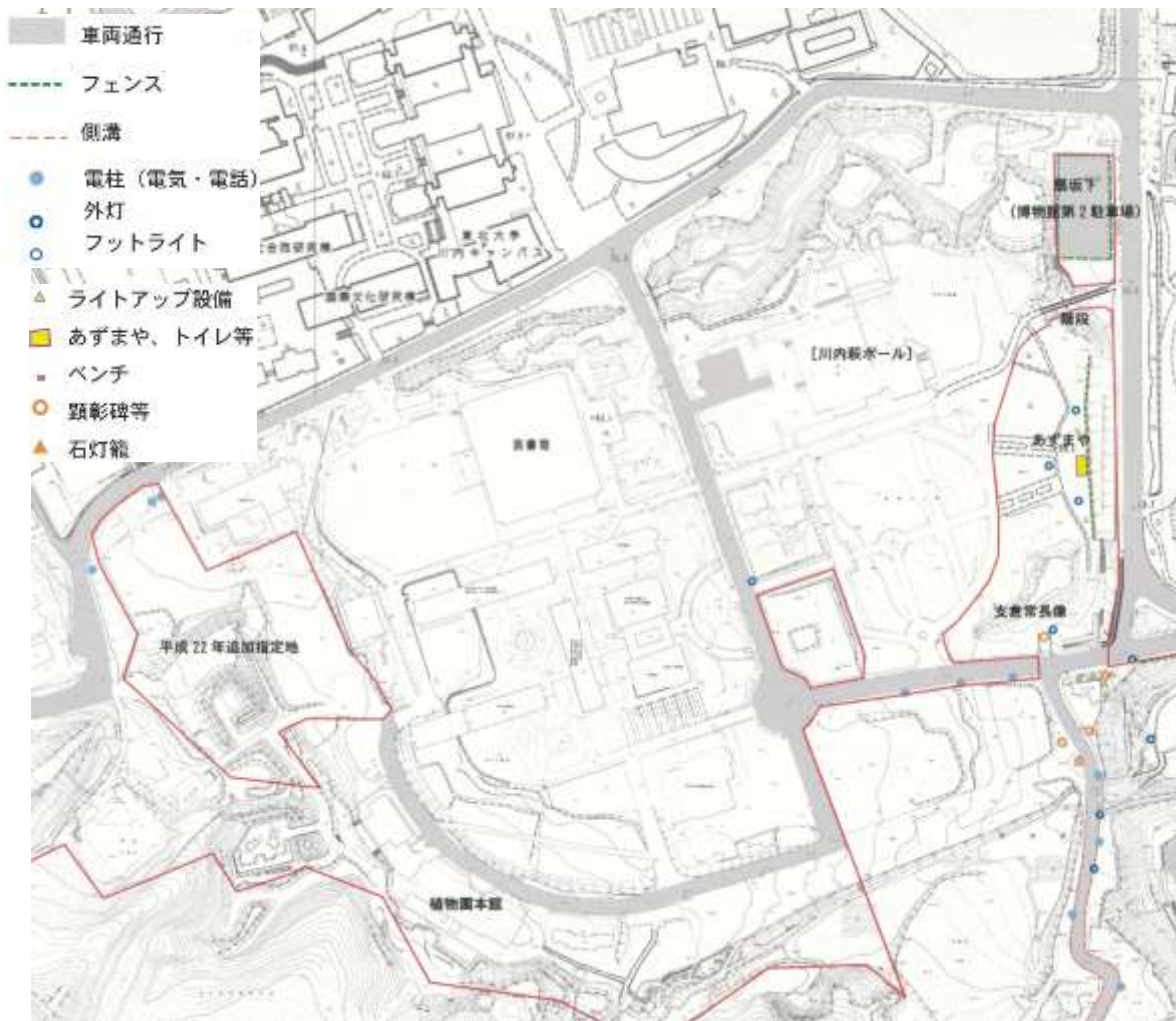


図 4-111 IV区 (二の丸) の公園施設等位置図



図 4-112 追加指定地の現況
(道路沿いの更地)



図 4-113 扇坂下の現況
(博物館第2駐車場)



図 4-114 公園案内サイン



図 4-115 藤棚・園路



図 4-116 東側土手のフェンス・側溝



図 4-117 扇坂跡の階段
(指定地外)

V 御裏林と本丸縁辺の崖地

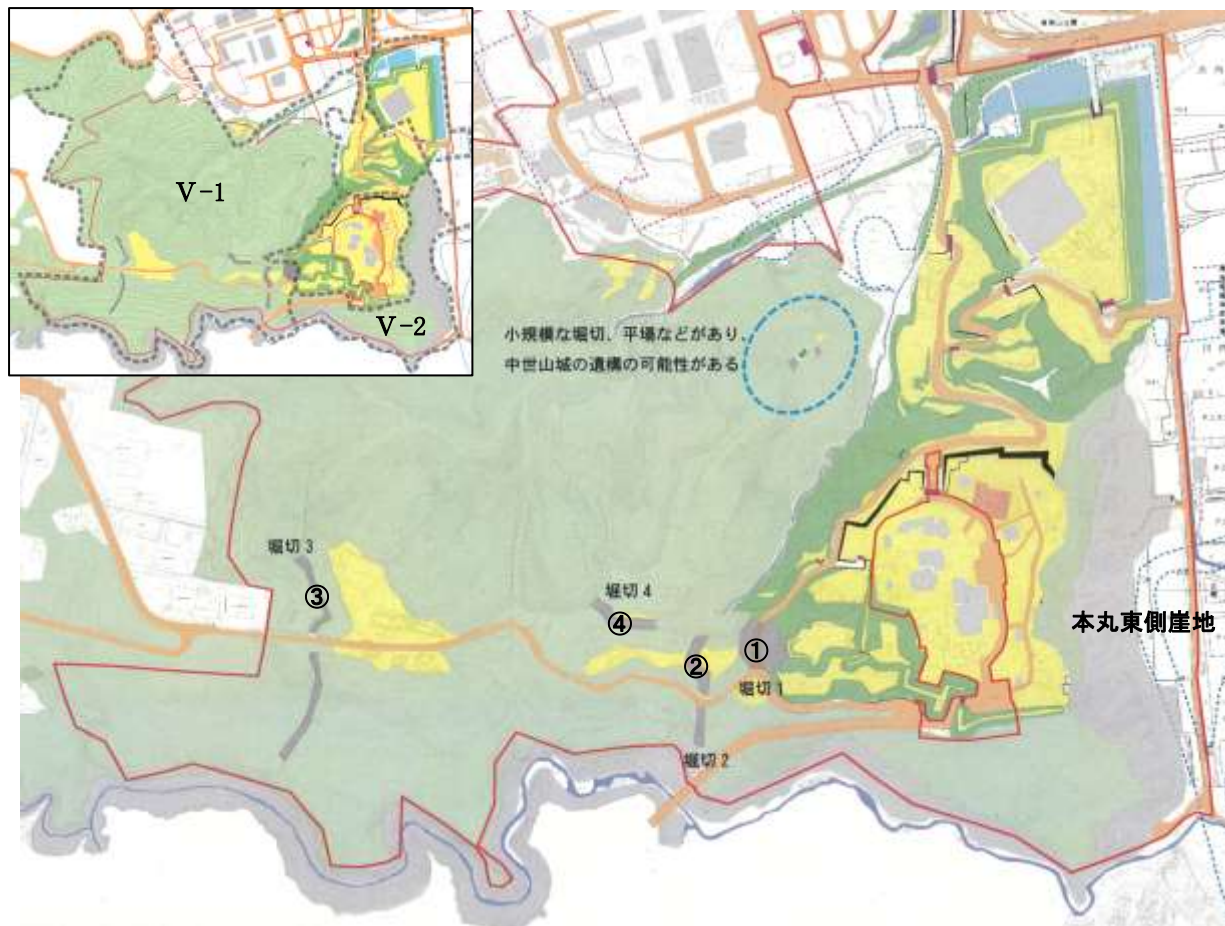


図 4-118 V区（御裏林・本丸縁辺崖地）の遺構位置図（○数字は以下の写真に対応）



図 4-119 堀切 1①



図 4-120 堀切 2②



図 4-121 堀切 3③



図 4-122 堀切 4④



図 4-123 本丸東側崖地



図 4-124 本丸東側崖地

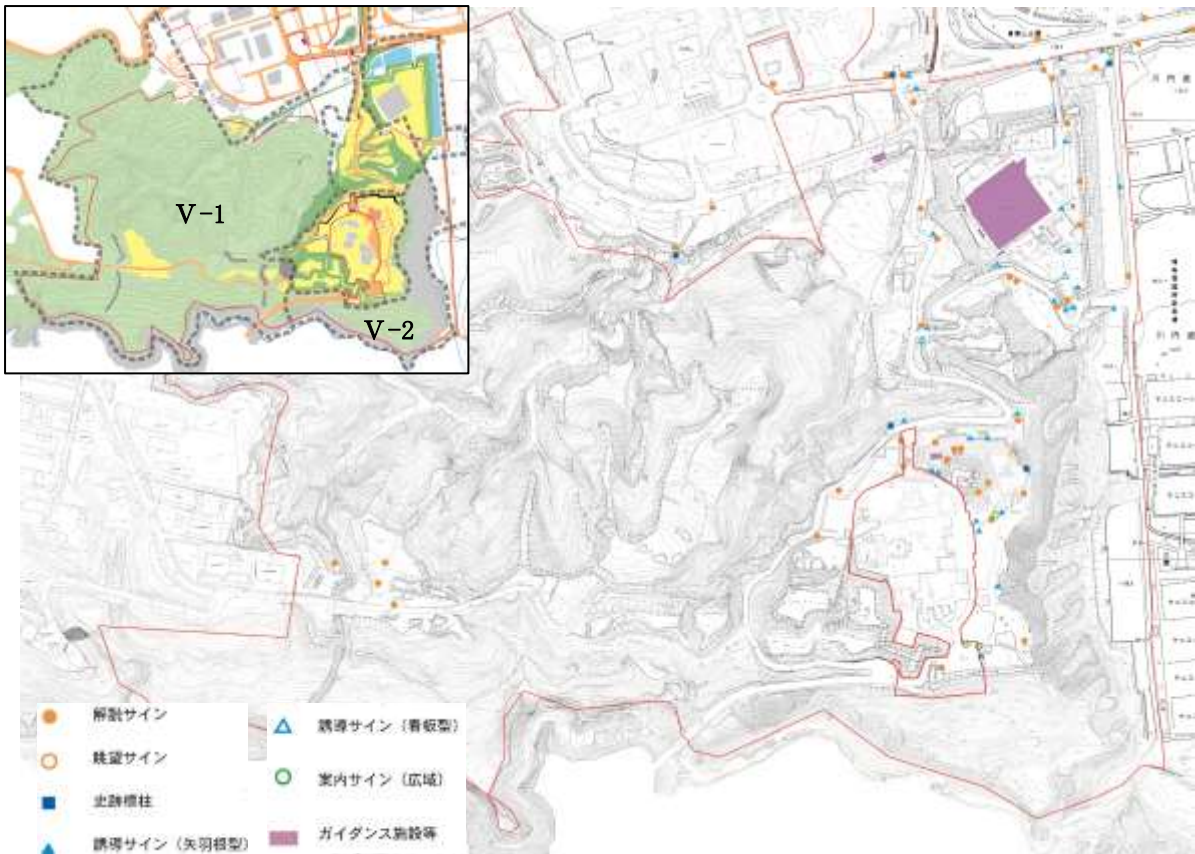


図 4-125 V区（御裏林・本丸縁辺崖地）のサイン等位置図

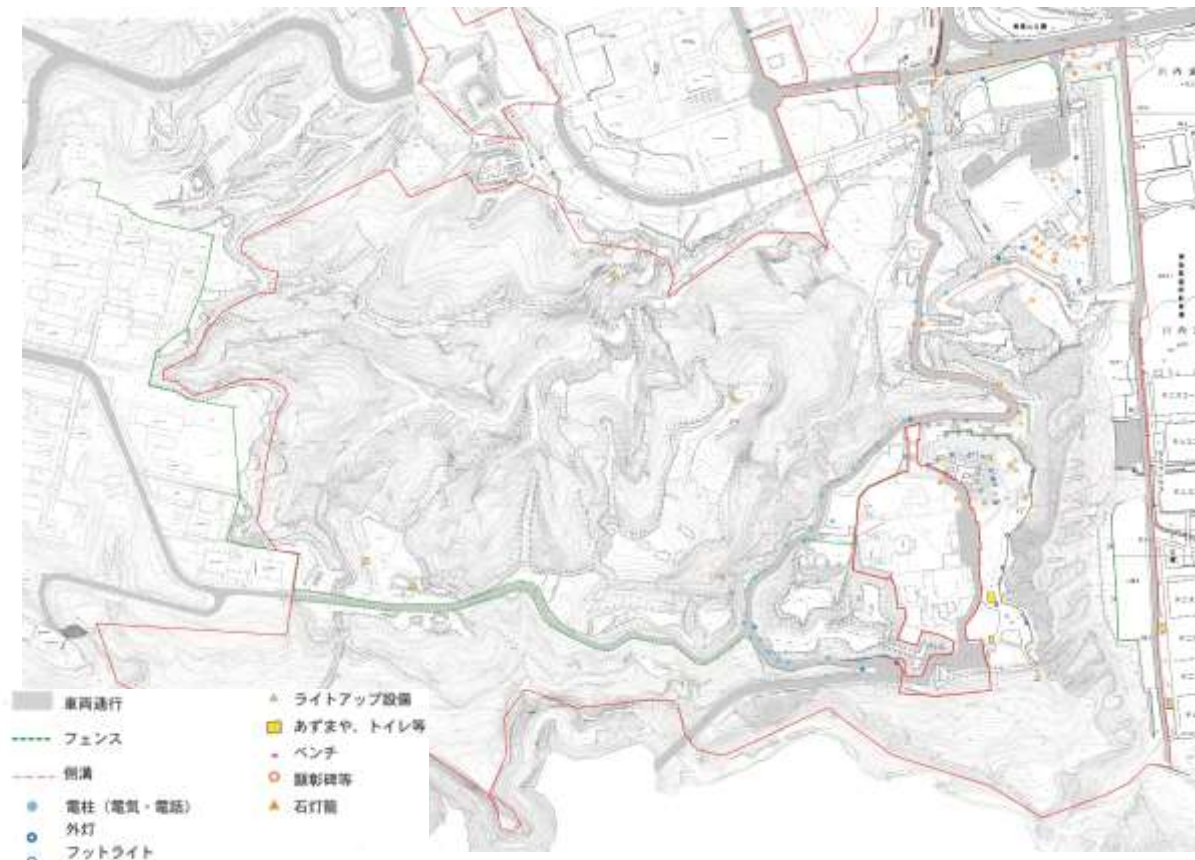


図 4-126 V区（御裏林・本丸縁辺崖地）の道路等位置図



図 4-127 天然記念物標柱と解説板



図 4-128 植物園内案内板



図 4-129 堀切3付近の解説板・案内板



図 4-130 植物園内案内板



図 4-131 樹種の表示



図 4-132 植物名の表示



図 4-133 植物園内の園路



図 4-134 植物園内のあずまや



図 4-135 植物園内のトイレ



図 4-136 本丸東側崖地補強工事



図 4-137 本丸東側崖地補強工事



図 4-138 本丸東側崖地補強工事



図 4-139 崖地下部の崩落土砂流失防止のための土留



図 4-140 VI区（城郭東縁部）の遺構位置図
 (○数字は右の写真に対応)



図 4-141 河床の穴と、切石積み石垣①



図 4-142 河床の穴②
 (大橋関連遺構か)



図 4-143 護岸石垣③



図 4-144 護岸石垣④



図 4-145 東日本大震災で被災した箇所⑤



図 4-146 河川敷に散在する石垣石材⑥



図 4-147 VI区（城郭東縁部）の遺構位置図



図 4-148 仙台国際センター
（東から撮影）



図 4-149 テニスコート等
（北から撮影）



図 4-150 大正 9・10（1920・21）
に建設された水力発電のための
取水口



図 4-151 蛸崎（かきざき）神社

表 4-1 仙台城跡を構成する諸要素

	史跡指定地		史跡指定地外		
	A 史跡の本質的価値を構成する諸要素	B 史跡の本質的価値を構成する要素以外の諸要素 (ア：史跡の保存・活用に有効な諸要素 イ：その他の諸要素)	C 仙台城跡の本質的価値を構成する諸要素	D 仙台城跡の本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素	
I 本丸	石垣（本丸北壁、本丸北西、酉門、御守殿跡付近）、平場、本丸南西部の遺構（西丸の平場、切岸等）、地下の遺構・遺物	ア	仙台城見聞館、大広間跡遺構表示、石垣モデル、案内板、解説板、公園施設（あずまや、トイレ、柵、園路、外灯、排水側溝）	地下の遺構・遺物	神社社殿、物販施設、博物館、顕彰碑、駐車場、電柱、地下埋設物（上下水道、電線）、樹木
		イ	顕彰碑等（昭忠碑、伊達政宗騎馬像、土井晩翠碑、石灯籠等）、樹木		
II 登城路	石垣（中門、清水門、登城路脇、井戸跡周辺）、平場、土塁、登城路（市道及び園路）、石組側溝、地下の遺構・遺物	ア	外灯、排水側溝、市道沿いの園路、案内板、解説板、調査事務所（仮設）及び関連工作物、電柱、外灯、地下埋設物（上下水道、電線）		
		イ	市道及び道路関連施設（ガードレール、標識等）、顕彰碑等（松川大将之碑、海藤静夫翁記功碑、天逸若生君碑、石灯籠等） 亜炭採掘関連工作物、樹木		
III 三の丸（東丸）	堀、土塁、平場、石垣（子門、巽門）、地下の遺構・遺物	ア	博物館、巽門跡遺構表示、案内板、解説板、外灯、地下埋設物（上下水道、電線）		
		イ	顕彰碑等（魯迅の碑、林子平の碑、伊達政宗胸像、動物慰霊碑、元市長顕彰碑等）、残月亭（移築）、樹木		
IV 二の丸	石垣（大手門跡周辺、筋違橋周辺）、土塀東辺の土手、扇坂付近の地形、地下の遺構・遺物	ア	案内板、解説板、再建建造物（大手門脇櫓）、あずまや、園路、柵、排水側溝	千貫橋石垣、千貫沢の地形、扇坂付近の地形、地下の遺構・遺物	大学施設、市道及び道路施設（信号機、ガードレール、標識等）、電柱、地下埋設物（上下水道、電線）、樹木
		イ	顕彰碑等（仙台城址碑、支倉常長像等）、博物館第2駐車場管理のための工作物、樹木		
V 御裏林、崖地	堀切、平場、地下の遺構・遺物、自然崖、植生	ア	案内板、解説板、あずまや、植物園園路、植物園管理施設（柵、土留等）、崖地の災害復旧工事工作物		
		イ	旧陸軍弾薬庫の土塁・工作物、ざんごう、防空壕、亜炭採掘関連工作物、樹木（天然記念物指定地外）		
VI 追廻等				護岸石垣、平坦な地形、地下の遺構（馬場・侍屋敷・埋没堀等）・遺物	住宅、住宅跡地、域内道路、側溝、電柱、テニスコート、管理施設、国際センター、地下埋設物（上下水道、電線）、案内板、解説板、樹木
仙台城跡周辺				周辺の埋蔵文化財包蔵地 （仙台城北方武家屋敷地区、川内A～C遺跡、桜が岡公園遺跡等）、経ヶ峯伊達家墓所、亀岡八幡宮、大崎八幡宮、石切丁場（国見地区）、若林城跡	